

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 23-006

PDCA	事務事業名	道路環境美化事業(防草対策)	部課等名	建設部土木課	建設担当	担当 内線等	鶴飼 437	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第4章 安全で快適に住み続けられるまち						
		節： 第2節 都市基盤の整備						
		基本施策： 3. 交通体系						
		単位施策： (2) 生活道路の整備						
根拠法令等	個別施策： ①安心して利用できる道づくり							
対象・目的	市管理道路における快適な住環境の創出と安全性の確保							
目的を達成するための手段・活動内容	市内一円の市管理道路について、快適な住環境の創出と安全性の確保のため、道路の路肩や法面などに防草シートやコンクリート等を張り、雑草の繁茂を防止する対策を実施する。							
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①防草対策箇所数			28	3	箇所	
		事業費			62,456	27,063	千円	
		人件費			1,990	1,062	千円	
		総事業費		0	64,446	28,125	千円	
		活動単位当たりのコスト		H30年度	R1年度	R2年度	単位	
	①防草対策1箇所当たりコスト			2,302	9,375	千円		
	成果	成果指標		H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①防草対策率(累計)	実績値		15.1	19.6	%	
			目標値		16.5	19.5		
			実績値					
			目標値					
		実績値						
	目標値							
C 課題の整理	観点別評価	必要性		有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある	
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※手段の変更		
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—	
	事業の評価・課題	B						
		市内一円の道路用地の定期的な樹木等管理委託4件と3箇所の防草対策を行い、快適な住環境の創出と安全性の確保を図ることができた。防草対策が完了した箇所の経過を観察し、草の繁茂が再発しないよう端部箇所などのメンテナンスにより、防草効果を継続させる必要がある。						
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進					
引き続き、市内一円の除草等を定期的実施するとともに、新たに除草箇所が確認された場合は、防草対策の可否を判断し、計画的に実施する。								
令和3年度の目標		成果指標				目標値	単位	
		①防草対策箇所数				5	箇所	